



佐久間 朱莉
Shuri Sakuma

注目ギア



心地よい打感と抜群の操作性、球の強さが決め手

「BLUEPRINT Sは、操作しやすく、飛距離は、以前使用していたアイアンとそこまで変わらないけど、球がより強くなった気がします。打感はやわらかく、インパクトでグンっとボールを包み込む感じが気に入っています。」(佐久間選手)

9月26日～29日に開催された国内女子メジャー大会「第57回 日本女子オープンゴルフ選手権」にて、PING契約の佐久間朱莉選手がホールインワンを達成しました。

大根根カントリークラブで開催された今大会4日目、12番179ヤードのパー3にて、操作性に優れ、シャープな見た目に寛容性をプラスした「BLUEPRINT S」の6番アイアンで放ったボールはカップに吸い込まれ、プロ転向後初となるホールインワンを達成しました。

佐久間選手は、今年2月の合宿時に同月に発売された「BLUEPRINT S」をテストし、今季の開幕戦より投入。パーオン率は、昨年より約4%アップし、ツアー全体5位の73.3%*を記録>(*JLPGAサイト「2024年スタッツ」より)。今季トップ10入りが12回(28試合中)、その内トップ5入りが4回と好調な成績を収めています。今後の佐久間選手の活躍に注目です。

佐久間 朱莉 選手 クラブセッティング

ドライバー	G430 MAX 10K (9度)
FW	G430 MAX (#3、#5)
ハイブリッド	G430 (22度、26度)
アイアン	BLUEPRINT S (#6-#9、PW)
ウェッジ	s159 (50度S、54度S、58度H)
パター	PING 2021 PUTTER DS72



金谷 拓実
Takumi Kanaya

2位

3位タイ

細野 勇策
Yusaku Hosono



9月26日～29日に開催された国内男子ツアー「バンテリン東海クラシック 2024」にて、PING契約の金谷拓実選手が単独2位、細野勇策選手が3位タイに入りました。

金谷選手は、5番アイアンに寛容性の高い飛び系アイアンを使用し、番手が同じ5番～PWに高いスピン性能と心地よい打感、寛容性を兼ね揃えたi230アイアンを入れたコンボセッティングにしています。シチュエーションに応じてクラブを使い分ける金谷選手は5位タイで迎えた最終日、6パーディー、ノーボギー、「65」の猛追の結果、首位と1打差の通算16アンダーで単独2位に入り、今大会でプロ転向5年以内の最上位選手に贈られる「ルーキー賞」を獲得しました。

レフティープレーヤーの細野選手も、4番～8番アイアンにi230アイアンを使用し、9番とPWは軟鉄鍛造でシャープな見た目と操作性に優れたコンパクトなヘッドのBLUEPRINT Tアイアンを使用したコンボセッティング。シチュエーションに応じてアイアンを使い分け、今大会高いパーオン率で3位タイと健闘しました。

金谷 拓実選手 クラブセッティング

ドライバー	G410 PLUS (9度)
FW	G410 LST (#3)
ハイブリッド	G410 (19度)
アイアン	G710 (#5)、i230 (#5-#9、PW)
ウェッジ	GLIDE FORGED PRO (52度S、58度S、60度S)
パター	SIGMA 2 ARNA

細野 勇策選手 クラブセッティング

ドライバー	G430 LST (10.5度)
FW	G430 MAX (#5)
ハイブリッド	G430 (22度)
アイアン	i230 (#4-#8)、BLUEPRINT T (#9、PW)
ウェッジ	s159 (52度S、56度S、60度H)
パター	PING 2021 PUTTER KUSHIN 4